



# 槐魂

～3月号～

生徒会広報部

来年度から一生涯懸命頑張ろう！

## 楠隼第一期生

# 楠隼初の卒業式 挙行！

↑「ボカリスエット」のダンスをしている中学三年生。超高難易度のダンス。  
→高校卒業式。綺麗に並んだ生徒は、実は、いつも以上に緊張していた。  
↓高校卒業式の様子。卒業生が登壇している最中。



↑高校卒業式の間、固唾を飲んで見守る在校生。

今月三月二日には、楠隼高校の第一回卒業式が、同じく三月十七日には楠隼中学の第一回卒業式が執り行われました。楠隼が開校してから初めての卒業生が、ついに誕生しました。

今回のこの卒業を経て、楠隼卒業生がこれからどうなっていくのか、どのようなことを成し遂げるのか、注目を浴びることとなります。

そんな卒業式が終わりを迎えて、富田先生、橋野先生が、卒業式の終了を放送しようとしたその時、「ちよっと待ったあー」という卒業生の声。卒業式のすべてを見届けて、会場から去る準備をしていた保護者の方々も、驚きの目で卒業生を見ていました。

高校生は「僕たちの三月九日」を独自アレンジした「僕たちの三月二日」を歌い、中学生は「ボカリスエット」のCMで、中高生達が踊っていた。

た難易度の高いダンスを踊っていました。高校の卒業生は合計で三十二人、中学校の卒業生は五十人でした。全寮制かつ男子校であり、すべてがゼロの状態であった楠隼。そんなあらゆる意味で、特別な環境であった楠隼において、第一期生には大変な重圧がかかったはず。楠隼の独特な形態を創り上げた第一期生。在校生は、卒業生の後姿を最後まで目で追いつけていました。

一期生の皆さん。三年間、本當にお疲れさまでした。来年から、ますます勉学に励んでいただくることを、生徒一同願っています。

(中井)



## 新村畜産の豪華牛肉贈呈式 楠隼生 美味に感動！

鹿兒島といえば、芋焼酎お茶、そしてぐりぶー、という考えも少なくないのではないのでしょうか。そして最後に挙げたぐりぶーは、黒豚をイメージさせる鹿兒島のマスコットキャラクターです。そんな鹿兒島においては、黒豚に負けじとするものがあります。それが牛肉です。

新村畜産の社長さんが楠隼にいらつしやうたのは二月の二十九日。牛肉を提供してくださるきっかけを作ったのは、中学一年生のことが探究におけるイ

最近、入学したときと同じ風だと感じるのになぜだろう。そして、また今年入学する第四期生。彼らもきつと同じことを考えて次の春を過ごすだろう▼今年度、さらに詳しく言えは三月十七日。この日をもって、楠隼の模範が決定した。この日執り行われた初の中学卒業式。楠隼の基盤を創り上げてきたこの第一期生の方々は、どのような思いを胸にこの楠隼中学へ入学し、そして楠隼高校へと足を進めるのだろうか。在校生である私たちの模範となった第一期生。第一期生の方々は、先が見えない中で楠隼という地を開拓してきた。伝統を作るのか継承するのか。第一期生はその伝統を創ってきた。まだ浅はかかもしれない、不十分かもしれない。それを今度は私たちが、修正を加えながらも継承していく▼第一期生が卒業しても伝統の本質は変わらぬように、風の香りも変わらない。この風の香りも、第一期生が創ったものなのかもしれない。

蛍光ペン ◆著：中井

シタビューでした。その日の給食は五十キログラムの牛肉をふんだんに使ったサイコロステーキ。加えていつもより沢山炊かれたご飯はあつという間にすべて無くなり、サイコロステーキの感動的な美味と、楠隼生の驚異的な食欲は、その場にいた人々をあつと驚かせたことでしょうか。新村畜産にも、是非、足を運んでみては？

(中井)



## 高2 中俣寮長 一年の任期を終えて



二十八年度の寮長を務めた中俣嵐翔さん(高二)。その中俣寮長の一年を振り返る記事が発行されます。

今年には様々な行事が多く行われました。サッカーワールドカップのパブリックビューイング、映画鑑賞会、平日外出の設定など様々です。その行事を企画し、実行したのは中俣寮長だけだ、といっても過言ではありません。多くの批判や苦情を受けながらも成功させた彼は、今年三月で任期を終了します。

任期が終わり、いまだのようないな心境か。寮長になって何を学んだか。新しい寮生徒会にどのように改革をしてほしいか。必見の内容です。是非ご覧ください。

(宮島)

## 海外研修 卒業間際に最大の試練

三月六日から十日まで、中学三年生として活動する最後の行事である海外研修が行われました。午前三時からという、ハードスケジュールの中、三年生はこの行事を乗り越えることができました。

今回、中学三年生が行ったのは、東南アジアに位置するシンガポール。マリーライオン公園があることで有名です。そんなマリーライオン公園に到着したのはシンガポールへの飛行機の旅を終えた後。感動する生徒も多かったようです。

二日目は、二グループに分かれて日系企業のSANKYUとJTBを訪問しました。具体的にシンガポールにおけるこの会社の役割などを説明していただきました。また、その後には、シンガポール大学の男子学生と合流して自主研修を行うという、異文化交流を体験しました。

三日目は、模擬国連として、捕鯨問題について互いの考えを発表しました。オールイングリッシュのため、難しかったと感じる生徒も少なくなかったようです。

四日目は、自主研修と称して、ユニバーサルスタジオ・シンガポールやナイトサファリなどの観光地で楽しんでいました。「沢山英語が使えて、英語力を実感できたのでよかったです。」と、帰寮後の生徒が話してくださいました。(中井)



## フロントランナーとの出会い

### 大学の大きさを直に感じる

中学二年生は三日間に渡り、九州大学研修を行いました。

一日目は約六時間に及んだバスに乗車し、少々疲れ気味の生徒がいました。しかし、九州大学についていたとき、大学の大きさに圧倒されていました。伊都キャンパスにおいて、初めての講義を受けました。講義内容は「昆虫の仕組み」についてです。カマキリの周りからの影響や、頭の解剖が行われ、全員興味津々でした。

二日目は二つの講義を受けました。一つ目は原子子についてです。丁度、中学二年生は学習している途中だったため、理解が不十分だった生徒も、納得した表情でした。講義終了後、箱崎キャンパスに移動しました。箱崎キャンパスはとも歴史が深く、建物も古いため、現在伊都キャンパスに移動中です。その箱崎キャンパスで、民法について講義を受けました。裁判官と弁護士との格差、弁護士の成り立ちについてなど、「Jバッジ」についてなど、歴史と共に詳しく教えてくださいました。

来年は中学校のトップに立つことを痛感した、やり甲斐のある行事でした。(宮島)



## English Camp

## 締めくくられた最初の一年間

三月七日、中学一年生の宿泊する最後の行事として、おすみくん家でのイングリッシュキャンプが行われました。主な活動は三つあり、その中でも際立って盛り上がりがあったのは、「スキット」という英語の短い劇の発表でした。

計十チームに分かれて劇を作りました。いろいろな劇がある中で、某大人気テレビアニメの世界観を百八十度狂わすような劇、同じく某生放送コマースシャルの世界で起きた大事件、一本のストローがもたらした幸運、などの、様々な劇が完成しました。イングリッシュキャンプのためだけにわざわざいらつしやつたALITの先生方にも大好評で、「すべての劇が魅力的で、どれにも目を引かれました。どの活動も面白かったです。是非、来年も参加させてもらいたいと思います。」

と話されていたALITの方もいらつしやり、来年への期待がかりました。また、イングリッシュキャンプの最初のほうでは、「英語ができないからいやだ。」

と言っていた生徒も少なくありませんでしたが、次第に活動に積極的に参加していく姿がみられ、最後には楽しく活動を終えられていました。(中井)



## サイン希望続出!

### 受験生に勇気を。

「三日月蹴り」で有名な、世界でも活躍する格闘家・菊野選手が、楠準にやってきました。講演開始前にサインボードの回収があり、そこに集まった人は数えきれないほど。その一夜で大ファンになった人も少なくないでしょう。

今回の講演では、菊野選手が格闘家になった理由などを教えていただきました。最後の質問コーナーでは、受験直前の高校生に勇気を出す方法を伝授していただき、帰りの拍手は鳴りやむことを知りませんでした。



後日、サインを受け取った生徒は跳ね上がった喜びでいっぱいでした。(中井)

## 楠準生徒との交流

### 東大工学部

今月十一日、東大工学部の方々と交流会が行われました。交流会では主に、宇宙学における研究発表と、簡単な東大の説明をしていただきました。交流会では学習室を使用して、東大生一人、楠準生徒二人で、対談形式で行われました。東大生の方々は、難解な質問にも適切にこたえてくださいました。



きつと、この楠準にも東大を目指している人は少なくないでしょう。今回の東大生との交流で、得られたものを生かしましょう。(中井)

## 課題研究発表会 「ことば」と「宇宙」



三月十三日、課題研究発表会が行われました。発表内容としては楠準独自の教科である「ことば探究」と「宇宙学」の学年目標に沿った研究結果、また、これから三年間向き合っていく研究テーマ、ことばの力を巧みに操って説明するスライド、ポスターセッションなど、様々なものがありました。

今回の課題研究発表会では、東大の名誉教授である先生や、「ことば探究」の制作に関わられた先生など、豪華な顔ぶれが並び、評価が厳しいといわれている先生からも絶大な評価をいただきました。

きつと、皆さんもこの発表会の中で、まねしたい発表法や、面白いプレゼンなどがあつたと思えます。来年の発表では、それを参考にして実践してみたいです。(中井)

### 【編集後記】

初の卒業式を迎えました。中学生は高校進学、高校生は大学進学となりました。大きな偉業を成し遂げた一期生。これからは二期生三期生の踏ん張りどころです。二期生は一期生に続く高校進学。三期生は、新しく入学してくる四期生の面倒を見ていかなければなりません。大変なことが多くありますが、めげずに一生懸命頑張ります。プレッシャーも感じると思いますが、一致団結していきましよう。お疲れさまでした。(生徒会広報部・宮島・中井)